

2024年3月03日

「信仰は潔く捨てること」

一人暮らしをしている私の母の家には、冷蔵庫が2台あります。娘たちが新しい冷蔵庫を買ってあげたのに、母は古い冷蔵庫がもったいなくて捨てられないのです。2台の冷蔵庫の中には、いつも何かかぎっしりと詰まっています。カビの生えた餅もありました。食べることもできない古いものを惜しんで捨てられず、いつも「何かに使えるから捨てるな」と言います。

しかし、不思議なことに、母は古くなった食べ物は捨てられないのに、主が嫌われるものはすぐに捨てます。ところが私は腐った食べ物はすぐ捨てますが、主が嫌われるものは捨てられずに引きずることがあります。

信仰は、潔く捨てることです。信仰の旅路に行くのに不必要なものを捨てれば、神様はどれだけ喜ばれることでしょうか。霊的な歩みは、神様に至るための旅路です。私たちはその旅の中で神様の愛と苦しみに触れます。多くの妨げるものが私たちを引っ張り、神様から遠ざけ、多くのものが私たちを占領します。霊的な歩みは、そのすべてを退ける旅路です。

私たちが歩むべき弟子の道にこのような障害物があるなら、それらを果敢に退け、神様を中心に迎えましょう。

信仰の旅路に、このような聖なる戦いがありますようにと祈ります。

月刊誌 リビングライフより

週報

§ 今年の教会テーマ
「主を仰ぎ見つつ」

§ 今年の主題聖句

「信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。」 ヘブル 12章2節

「彼らが主を仰ぎ見ると、彼らは輝いた。」 詩篇 34:5

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2
宗教法人 日本ネクスト・タウンズ・クルセード
鈴鹿キリスト福音教会
059-383-5145(教会)

3月03日

本日のメッセージ 「主をあかしする人」
聖書箇所 使徒 22:1～21

大勢の民衆がパウロに対して、「殺してしまえ」と殺気だつて迫って来た時、主は彼をローマの兵士の手によって守られ、さらに先ほどまで怒りに満ちて、彼を殺そうとしていた人々に、キリストをあかしする機会をお与えになりました。そこで、パウロは人々を落ち着かせて、キリストが自分にして下さった恵みのわざを詳しく語りだした。

1. 聖書には数多くの神の人たちの証しが溢れている
2. パウロは「キリストが自分にして下さったこと」、すなわち救いの証しをした 22:2-16
テモテ第一 1:13-15
「私は以前には、神を冒す者、迫害する者、暴力をふるう者でした。しかし、信じていないときに知らないでしたことだったので、あわれみを受けました。14 私たちの主の恵みは、キリスト・イエスにある信仰と愛とともに満ちあふれました。15 「キリスト・イエスは罪人を救うために世に来られた」ということは真実であり、そのまま受け入れるに値するものです。私はその罪人のかしらです。
3. 主の救いの恵みをあかしすることは大きな祝福をもたらせる
 - ① キリストによる救いの恵みをあかしすることは、神様と主をあがめることである
 - ② それは、聞いている人々を祝福し、イエス様を信じて救われる人が起こされる

③ 絶えず、主の救いと恵みをあかしする人の信仰は、私本位から、キリスト中心に変えられて行く

コロサイ 2:6

「このように、あなたがたは主キリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストにあつて歩みなさい。:7 キリストのうちに根ざし、建てられ、教えられたとおりの信仰を堅くし、あふれるばかりに感謝しなさい。」

I コリント 11:23～28

私は主から受けたことを、あなたがたに伝えました。すなわち、主イエスは渡される夜、パンを取り、11:24 感謝の祈りをささげた後それを裂き、こう言われました。「これはあなたがたのための、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」

11:25 食事の後、同じように杯を取って言われました。「この杯は、わたしの血による新しい契約です。飲むたびに、わたしを覚えて、これを行いなさい。」

11:26 ですから、あなたがたは、このパンを食べ、杯を飲むたびに、主が来られるまで主の死を告げ知らせるのです。

【報告】

- ※ 本日の礼拝会では聖餐式を行いますが、今月は24日の日曜日から受難週に入り、31日がイースターの主日となります。
- ※ 今日、午後1時半から「会話伝道セミナー」は一階のコイノニア室で行います。講師としてギデオン協会主事の石橋兄が講師として御用させていただきます。このために3月の「しもべ会」は来週の日曜日、午後1時から行います。
- ※ 今週木曜日、関西聖書学院の卒業式があります。2学年編入でKBIに入学した泉田兄も卒業生としてこの日を迎えます。卒業式と卒業する7名の兄弟のために神様の祝福をお祈りしましょう。